

27B 日帰り旅行サークル 〈令和5年の活動〉

【令和5年6月10日】

幹事：第2班（野澤班長）

「信州さくらんぼ狩りとフローラルガーデンおぶせ」の 日帰り旅行へ行ってきましたよ ♡

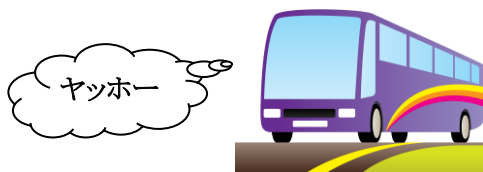
日帰り旅行サークルは、令和5年6月10日(土)参加者9名(女性4名、男性5名)で
くれよんの「信州さくらんぼ狩りとフローラルガーデンおぶせ」ツアーに参加しました。V(^-^)V

＜旅程＞

新潟 B.C(8:15)―新潟駅南口(8:30)―巻潟東(9:05)―飯山(いいやまぶなの駅で昼食)―**フローラル
ガーデンおぶせ**(広大な庭園の花見学)―飯山(**さくらんぼ狩り 30 分食べ放題**)―いいやまぶなの駅
(ショッピング)―＜各乗車地＞―新潟各地(18:00～18:30)

〔ツアーポイント〕

- ◆長野県の給付額付きで 2,100 円お得！
旅行代金 10,500 円 ⇒ 8,400 円
そして、1,000 円のお買物クーポン付。
今回の旅行代金は、実質 7,000 円(笑)。
- ◆さくらんぼ狩り園内 30 分食べ放題！
- ◆広大な庭園「フローラルガーデンおぶせ」
の花見学 ♪(^-^)



＜フローラルガーデンおぶせ＞

【6月10日(土)】

当日の新潟の気温は27度／17度と寒くも厚くもなく陽気。
薄日の下、新潟交通バスセンターに我々グループ3名が集まった。
出発前に、1,000円のお買い物クーポン券まで添乗員から渡された(ラッキー！)。
コロナも第5類への移行を受け、マスクもワクチン接種券の提示も不要と、コロナ禍前
に戻り気持ちは開放感一杯。但し、車内のアルコールは控えるように…は残念。
AM8:15 バスセンターをスタートした「くれよんバス」は、新潟駅南口で5名、
さらに巻潟東駐車場から最後の1名が乗り込み、参加者総勢9名、他の乗客と合わせて
40名で、いざ、最初の目的地、飯山市を目指し＜北陸道＞を快適に走りました。
車内では女性達が持ち寄ったお菓子を袋詰めにしていましたが、自然と話しは弾む。
バスは、休憩地の米山サービスエリア経由、最初の目的地「いいやまぶなの駅」へ。
長野県飯山方面は、丁度梅雨入りした長野県でしたが、どんよりした天気、カンカン照
りよりは良い。

「いいやまぶなの駅」は、飯山市最大 150 席の広いフードコートが特徴。
ここで 山菜・野菜・きのこ等の飯山の旬の郷土料理を楽しめるが、やはり長野といえば、
“そば “ 「そば処 小木曾製粉所」で昼食。

ご馳走さま うまかったです (*´▽`*)ニコニコ。そして食後に農産物をお買い物！



↑ [いいやまぶなの駅「そば処 小木曾製粉所」]



↑ [そばセット]

食事&買物の後は、15,000 m²の広大な庭園「フローラルガーデンおぶせ」の花見学 ♪。

【フローラルガーデンおぶせを紹介しよう(^_^)/~】

15,000 m²の庭園を持つ「フローラルガーデンおぶせ」は、花の町小布施を代表する施設です。
四季折々の花は人々を楽しませるだけでなく、ガーデニングをする際のイメージづくりにも一役買っています。シーズンごとに季節の花で彩られた花壇や、数々の宿根草を中心に植栽されたボーダーガーデンなど広い敷地内で、様々な表情が楽しめるのが特徴の公園となっています。
園内各所にはベンチがあり、爽やかな風を感じながらゆっくりとした1日を過ごせるので、森林浴でリラックスしたい方にもオススメです。
施設の売店内では季節の鉢花や花の苗を販売しており、育て方の相談をしたり、互いに情報交換ができるような姿も見られます。また、敷地内には庭園を眺めながら食事を楽しめるレストラン「OBUSE 花屋」もあります。

「フローラルガーデンおぶせ」の美味しいジェラートを味わった後は、
いよいよ本日のメインイベント「ハウス栽培のサクランボ狩り」🍒
ここでは、高砂、佐藤錦、香夏錦の3種類のサクランボをハウス栽培している。

〔香夏錦〕

福島県伊達市の佐藤正光氏が昭和 43 年に
佐藤錦に高砂を交配した実生から選抜育成し
昭和 59 年に品種登録された。

〔佐藤錦〕

「黄玉」×「ナポレオン」大正元年（1912 年）に
山形県東根市の佐藤栄助氏がナポレオンに黄玉を交配してできたと推定される品種。

内容：30分園内食べ放題
農園：小沢農園

[高 砂]

アメリカ原産で明治初期に輸入された。短心臓形で大きさは中位。果皮は淡赤色で甘味多く、果肉がやわらかい。

【長野県はフルーツ王国～ちょっと紹介しよう(^_^)/~】

長野県は四季を通してさまざまなフルーツが実ります。りんご、もも、なし、ぶどう、さくらんぼ、プルーン、いちご、あんず、すいか…。挙げればきりがなほたくさんたフルーツが栽培されています。南北 212km という広い面積や、地域によって標高差があることも、多品種の栽培につながっています。

種類の豊富さに加えて、生産量ではりんごやぶどう、もも、なしなどが長野県の果樹生産の主力です。なぜ長野県のフルーツはおいしいのか。その理由は大きくふたつあります。ひとつは、雨が少なく日照時間が長いこと。フルーツのおいしさを育むのは、なんといっても太陽の光です。日中、存分に太陽を浴びて光合成をすることで、フルーツはたっぷりの養分を蓄えます。

ふたつ目は昼夜の寒暖差。フルーツは、日中に光合成で蓄えた養分を使って夜間、呼吸をしています。夜の気温が高いと、呼吸に使うエネルギーが多くなり、低いと少なくなるのです。内陸性気候の長野県は、避暑地のイメージとは裏腹に真夏の昼間はぐんと気温が上がりますが、夜になるとそのように涼しさがやってきます。つまり、木々は昼間に蓄えた養分を夜間、呼吸に使いすぎることなく十分に蓄えることができ甘さと栄養とが詰まったフルーツとなるのです。

サクランボ🍒といえば“山形県”。でも、ここ長野のサクランボ🍒も思いのほか美味しくて、びっくり(^_^♪。

サクランボ🍒を堪能した後は、お土産を求めて再び「いいやまぶなの駅」へ。

1, 0 0 0 円のお買物券は無事に使わせていただいた所で、バスに乗車し復路へ。
再び北陸道を通り、各乗車地経由で帰路です。
巻潟東で同志 1 名が降車、新潟駅南で 6 名下車し、終点万代シティは 1 8 : 2 0 頃の到着で



↑ いいやまぶなの駅

お天気と仲間に恵まれ楽しいひと時を過ごしました！

参加した 9 名の会員は楽しく充実した一日を過ごさせていただき、良き旅の思い出となりました。

これだから「日帰り旅行はやめられない！！」。

幹事の第 2 班の皆さまありがとうございました。そして参加いただいた会員の皆さんお疲れ様でした♥。どうぞ、これからもお元気で毎日をお過ごしください。

今回は、新年会兼総会（幹事：第 1 班 秋山班長）です。
また大勢の皆さまのご参加をお待ち致しております。

それまで、ご機嫌よう ♥ (^_^)/~。

以上